

クララの秘密 (ハーレクイン・イメージ)

9月20日刊

I-2484

ハーレクイン・イメージ

*Image*

クララの秘密

ソフィー・ペンブローク / 北園えりか 訳



発売日: 2017年9月14日  
出版: ハーレクイン  
著者: ソフィー・ペンブローク  
ページ: 185

わたしは都合のいい妻、愛されない妻。そのうえ望まれぬ子を身ごもったら……。

仕事に夢中な大富豪ジェイコブとの結婚に嫌気がさしたクララは、都合のいい妻でいるのがつらくて、身の回り品だけを手に家を出た。その後、新たな命を授かっていることに気づいたが、子供は欲しくないと言っていた彼に知らせるつもりはなかった。愛されないならいっそ別れたいと再三訴えるクララに対し、彼はつねに弁護士を通じて、離婚には応じないと伝えてきた。だが5年後、イベント業を営むクララのもとにジェイコブが現れ、余命わずかな父のために家族パーティを企画してほしいと頼んでくる。密かに産んだ娘の存在、いまだくすぶる彼への愛は、知られたくない！悩み苦しむ妻に、夫は言った。「引き受けてくれるなら、離婚に応じる」

夫を愛しているからこそ、いびつな関係に耐えきれず別れを選ぼうとするクララ。そんな切ない望みを、なぜかつっぱね続けるジェイコブの真意がわからずに悩みます。さらには、物心ついた娘が町のサンタに“パパが欲しい”とお願いしているのを聞いてしまい……。

<https://k2s.cc/file/2c36685e78262/5oGYTGk2u.pdf.rar>